

民友クラブ・行政視察報告書

神谷文明

平成 31 年 1 月 22 日(火)～23 日 (木)

視察先 福岡県春日市

1 月 22 日 (火)

・【コミュニティスクールの取り組みについて】



概要

春日市内全 18 校(6 中学校・12 小学校)においてコミュニティスクール事業を導入している。コミュニティスクールとは、地域と学校が一体となって役割分担をしながら、それぞれが主体的に取り組む事業で、お互いが達成感を味わうことができるものである。

目的

社会総がかりでの教育の実現であり、学校ではいじめ・不登校・教員の多忙化等。家庭では無関心・過干渉・核家族化等。地域では規範意識の低下・性犯罪等が解消できる取り組みだとされており、現地に行き事例を学ぶことが目的である。

所感

大阪府門真市議会議員 3 名と共に視察させていただき、全国的に関心のある事業だと感じた。市内の補導児童生徒の人数が劇的に減少し、その方面には効果があることが解ったが、教員の多忙化は解消されず更に増えていることが解った。政策提言するためにはもう少し事業を勉強したい。

視察先 佐賀県佐賀市

1月23日(水)

【佐賀市地場産品交流会館「肥前通仙亭」の取り組みについて】



概要

高遊外売茶翁は佐賀市出身で日本における煎茶の中興の祖と言われている。しかし、地元佐賀でも近年までその存在はあまり知られておらず、平成20年から「高遊外売茶翁顕彰会」を発足し、平成20年度農林水産省「農山漁村(ふるさと)地域力発展支援モデル事業」の採択を受け、佐賀の茶文化、菓子文化、有田焼などの焼き物文化を活かした取り組みを行ってきた。また平成22年からその活動拠点となる「肥前通仙亭」が開館し体験型の煎茶を楽しめる場となっている。

目的

知立の八橋売茶翁は高遊外売茶翁に憧れてその道に学んだ人である。知立の観光振興計画では、煎茶を活かした観光振興を目指しており、先進的な事業を行っている「肥前通仙亭」を実際に見て、聞いて、体験して政策提言に活かす事が目的である。

所感

建物は佐賀市の管理、運営はNPO法人高遊外売茶翁顕彰会ということで運営上の課題はあるように感じた。しかし平成29年度の来訪者数17,134人、内外国からの来訪者2,631人で視察した日も台湾からの団体観光客が来訪しており、同じ煎茶文化を持つ国からの人数が多いとのことであった。平成30年3月議会の一般質問で類似事業を政策提言したい。